

福岡県労連

KEN ROREN

ZENROREN

2018
12月号
No.146

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル 2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822

編集発行
福岡県労働組合総連合

福岡県労連 検索

〔定価〕
1部10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード: hinode (1/1 ~ 1/31)

「新春旗開き」 ご案内

- 県労連
とき 1月10日(木) 18時30分
会場 With The Style Fukuoka
(博多区博多駅南)
会費 5,000円
- 北九州地区労連
とき 1月11日(金) 18時30分
会場 リーセントホテル小倉
(小倉北区大門1丁目)
会費 5,500円
- 福岡地区労連
とき 1月19日(土) 18時30分
会場 ホテルサンライン福岡博多駅前
(博多区博多駅前4丁目)
会費 4,000円

県春闘共闘総会・討論集会開かれる 労働時間の抑制、賃上げ、 組織の拡大・強化に全力を!



福岡県春闘共闘連絡会議総会及び2019年県民春闘討論集会が、12月9日、福岡市博多区で88人の参加で開催され、情勢学習とともに、2019年春闘方針が確認されました。

野党から連帯メッセージ

総会では、とどまる 政権の暴走に抗して、
ところを知らない安倍 市民と野党の共闘で安



法政大学 上西教授

「ご飯論法」の 上西教授が講演

午後からの春闘討論集会では、今年の流行語大賞にもノミネートされた「ご飯論法」でもおなじみの法政大学キャリアデザイン学部教授の上西充子氏が、「19春闘『働き方改革一括法』成立の下での労働組合の課題・役

倍暴走政治を終わらせようという江口議長のあいさつに続き、日本共産党真島省三前衆議院議員より臨時国会における国会情勢報告と連帯のあいさつを受け、立憲民主党野田国義参議院議員、国民民主党稲富修二衆議院議員、立憲民主党山内康一衆議院議員の連帯メッセージが紹介されました。そして、代表幹事会から2018春闘経過報告、2019春闘運動方針案、決算・予算案が提案され、すべての議案及び新役員体制が全体の拍手で採択されました。

22人の発言

午前、午後を通じて22人の参加者から職場の状況や闘いについての発言がありました。労働者を使い捨てにする「アベ働き方改革」の職場への導入を許さない闘いを進めるとともに、組織拡大・強化を図り、2019春闘で大幅なベースアップを勝ち取る決意を山下新議長があいさつの中で述べ、参加者全員で決意を固めました。

割」と題して講演しました。上西氏は、高度プロフェッショナル制度、裁量労働制、残業時間の上限規制などの過労死につながる働き方を許さない闘い、「36協定」締結のために全従業員の過半数に達していない労組では、過半数代表を獲得することの重要性などを強調しました。また、ニュースやSNSで断片的な情報しか伝えられていない中で、国会の内容が市民に正しく伝わっていない状況があり、安倍首相や閣僚答弁の嘘やごまかしを明らかにし、市民に考えてもらうために取り組んでいる「国会パブリックビューイング」が紹介されました。

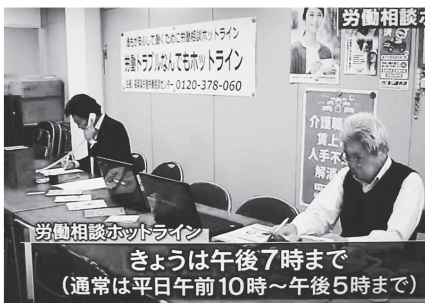


11月24日
いかなんて貧困福岡総会



11月25日
機関紙学校で機関紙協会大阪の西岡健二さんを招いて学習

写真で見る 活動あれこれ



11月30日
労働相談ホットライン
きょうは午後7時まで
(通常は平日午前10時~午後5時まで)



12月2日
北九州市長選挙に立候補する
ながた浩一候補事務所開き

県労連女性センター 第26回定期大会 「学習」と「交流」を深める

県労連女性センターは、第26回定期大会を12月1日に開催し21人が参加しました。

大会は、午前中に下関大学の関野秀明教授を講師に迎え「貧困・戦争の安倍政治から福祉・平和の国へ」と題した学習会を開催しました。午後は、各単産・単組の取り組みと活動報告を行い交流しました。

今年度の役員は、小西浩子(福法労)、野口尚代(年金者組合)、前田由美子(自治労連)、宮本敦子(福祉保育労)、保元里美(医労連)、小川マリ子(県労連)が選出されました。(敬称略)



シリーズ
県政を考える
②

指標から見る県政

「県民幸福度日本一の県政」って本当??

小川県知事は「県民幸福度日本一の福岡県」を目指してきたようです。周りの人とも話すうちに、そんなに悪いことはないし、まあ、福岡県は暮らしやすいかな」との声も聞かれます。しかし、曖昧な指標である「幸福度」などを県政評価にするのはあまりに無責任すぎるとおもいませんか。あらためて調べるという事実がわかりました。まずは次のデータを紹介します。

幸福度日本一とは 真逆の指標

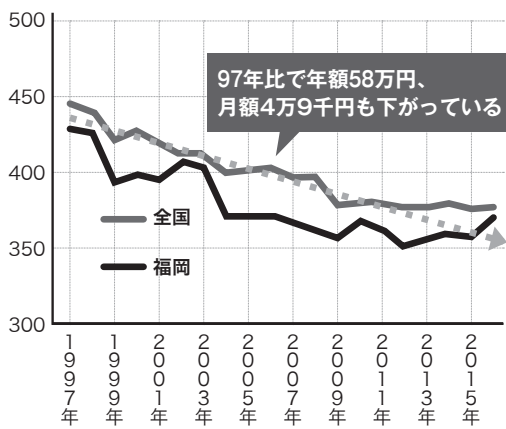
生活保護受給率4位、ワーキングプア率6位、子どもの貧困率4位、完全失業率5位、非正規雇用率5位、公立小中学校教員非正規率2位、後期高齢者保険料1位は「県民幸福度日本一」とはとも思えません。

ちなみに調べてみると少し古いデータですが、法政大学が研究発表していたことがわかりました。40ものデータをもとに社会経済統計を活用して分析した結果、福岡県はなんと39位でした。

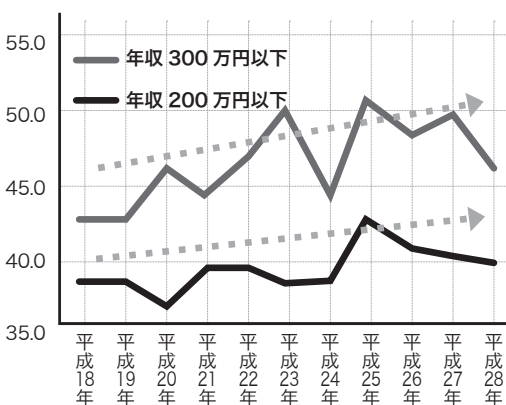
また、福岡県の働くものの現状を見る上で賃金の現状を外すことはできません。左上の表「県内民間労働者の賃金の低下」ではこの間賃金がどのようになってきたかがわかります。1994年に比べ年収がなんと58万円も減少していることがわかります。左下の表では、200万円以下のワーキングプアの方の占める割合を示して

子どもや高齢者が安心して暮らせる県政へ

県内民間労働者の賃金の低下(年額)



4割が年収200万円以下(県内、万人)



います。平成28年においては労働者の40%が年収200万円以下となり、労働者の生活が大きく追い込まれていることがわかります。

「仕事」と「くらし」 がキーワード

こういう県政で本当に良いのでしょうか。これらを見るだけでも福岡県で力を入れるべきポイントははっきりします。これを変えるためには、県民所得を増やし、消費を活性化させ、地域経済を発展させる施策が必要です。即ち、この間私たちが求めてきた地域循環型経済、最賃1500円の実現、公契約条例の制定など早急な手立てが求められます。

私たち県労連はこの間、福岡県に対して運動を進めてきましたが、小川県政はまったく耳を貸さず現状は悪くなる一方です。このような数値などで県政の実態を見ていくとたくさん問題があることがわかります。

「曖昧な県民幸福度」ではなく「生活上が実感できる県政」が必要です。これを実現する近道は県政を変えることです。みなさん一緒に、来年4月の県知事選挙で「仕事」と「くらし」をチェンジ!

来年4月施行、問われる組合の対応

働き方改革 関連法学習会



福岡県労連は、福岡・北九州の両地区労連と共催で、全労連・雇用労働法制局の伊藤圭一局長を招いて「働き方改革関連法」にどう対抗・対応するか」と題した学習会を、11月29日福岡市で、30日北九州市で開催し、65人が参加しました。

岩盤規制は 労働者の命と健康

冒頭、伊藤局長は「働き方改革は誰のための改革か」と問いかけ、政府は、労働者向けの発言と未来投資会議での大臣発言を巧みに使い分けており、安倍首相の「岩盤規制にドリルで穴をあける」は、労働者の命と健康、暮らしを守る法令にドリルに穴を開けることだ。狙いは企業が一番活躍しやすい国を作ることにある」と強調しました。

改正のポイント 掘んだ運動を

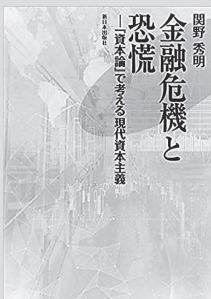
そして「働き方改革関連法」で働き方に関するルールが変わるがポイントは「ここ」と具体的に述べ、原則に帰った36協定の活用、仕方や法改正と同時に懸念される事項、雇用形態別の待遇格差に関する法整備などについて具体的に触れました。早くは来年4月からの施行になり、労働組合の存在が問われることとなります。

この本
おすすめ

関野秀明著

金融危機と恐慌

『資本論』で考える現代資本主義



著者である下関市立大学関野教授の講演を聞いたときに紹介されすぐにAmazonで購入。

書評では『ゼロ金利・量的緩和政策』『働き方改革』など「アベノミクス」なる経済政

策は何をもたらしたのか。その暴走によるブラック企業の横行、ワーキングプア、格差と貧困の拡大、さらに「戦争できる国」づくりへの変質を、データによる現状分析と『資本論』にある理論・法則に立ち返って本質を解明」とあります。春闘を闘う必読の本です。ぜひ皆さんも読み下さい。

(ふくやまけいじ)

編集 後記

◆年末恒例の今年の漢字は「災」。毎年発生する自然災害は、その規模も頻度も大きくなっている感じがします。この一年間も、豪雨災害や台風、震災などが発生し、多くの人たちの命と暮らしを奪い、国の貧困な復興支援策の下、未だに困難な生活を続けるを得ない人が多くいます。減災のためには、一人ひとりが暮らし方を見直す必要があります◆自然災害はなくすことはできませんが、国民生活を破壊し続ける「安倍政権」という「災」はなくすことができます◆「野党と市民の共闘」で安倍政権を倒し、来年の漢字は「幸」や「福」にしたいものです。(い)